

No.024
4月号

西広島

あかり苑だより

インターネットホームページ <http://www.nha.wadoukai.jp>

行事一覧(予定)

4月行事予定

21日(木)またあげは 14:00~15:00
27日(水)美鈴ひばり 15:00~20:00

5月行事予定

25日(水)美鈴ひばり 15:00~20:00
27日(金)またあげは 14:00~20:00

6月行事予定

20日(月)二喜会 14:00~15:00
22日(水)美鈴ひばり 15:00~20:00
24日(金)またあげは 14:00~20:00

定例クラブ予定

★手芸クラブ
毎週(月) 13時半~14時半
★書道クラブ
第1・2・3(金) 13時半~14時半
★華道クラブ
月2回(木) 13時半~14時半
★園芸クラブ
隔週(木) 13時半~14時
★音楽療法
第1(金) 9:45~11:00
第3(水) 13:45~15:00

地域の歴史・豆知識

今回は、皆様が入居しておられます西広島あかり苑の、古田・田方地区の歴史をご紹介します。

【地名の由来】

「古田」は、明治22年(1889年)古江村と山田村が合併して、古田村となったことが由来です。古江村は昔、入り江で古い港があったことから「ふるえ」と呼ばれました。山田村は昔「やまた」と呼ばれていましたが、山あいの村で、「八岐の大蛇」の「やまた」と同じように道が八方に続いていた等、いくつかの由来があるそうです。

【歴史 ①大昔】

今から2000年以上前の縄文・弥生・古墳時代の人々が使っていたものが、古江西町で出土しており、ここ古田地区には大昔から人々が生活していたことがわかっています。古田地区は気候が良く、野山の木の実・魚や貝がとれることから、住み易い所だったようです。昔は道らしい道もなく、動物たちの通る「けもの道」を通り、遠くへの旅は船を使っていました。古江・田方は「軍津浦和(いくさつうらわ)」といわれており軍船の寄港地でした。古江の港から戦いに出発すれば勝つという言い伝えがあったため、毛利元就が陶晴賢(すえはるたか)を倒す時も、この港を使ったそうです。行者山の東の清水山からきれいな水が湧き出ており、付近を通る船は港に寄ってきれいな水と食べ物を積み込み、長い船旅に備えたそうです。

今から500年頃前、安芸国の守護・武田氏と厳島神社の藤原神主家との間で「領地争い」が繰り返され、山田に「狐が城」が築かれました。現在の山田団地の山頂になりますので、皆様、歴史に思いを馳せて窓から山をご覧下さい。

介護付有料老人ホーム 西広島あかり苑

〒733-0851 広島市西区田方2-16-45

TEL 082-271-6511 (老後いい) FAX 082-271-6566

4月より新たに広報委員長となりました山本です。

皆様の生活の様子を楽しくお伝えできるよう、委員会スタッフ全員で取り組んでまいります。引き続きよろしくお祈りいたします。今号では、花見外出の模様、皆様の住んでおられる古田・田方地区の歴史コーナーを掲載しました。次号も引き続き古田・田方地区の歴史を紹介していきますので皆さまお楽しみにして下さい。

広報委員長 山本 昇

2016年 お花見

江波山公園



平和記念公園



3階 ふれあい広場



3月末から4月上旬にかけて、平和記念公園、江波山公園へのお花見外出を行いました。公園内を散策して桜、チューリップ等の花を楽しみ、春の風を感じてきました。西広島あかり苑3階のふれあい広場でも今年も桜の花が咲きました。皆様、桜を見ながら3時のおやつとおしゃべりを楽しんでおられました。